

「ふくすいき

令和5年6月号

～福水企～」通信



企業団キャラクター
ピュータくん

この「ふくすいき～福水企～」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

● 全国水道企業団協議会第67回総会【出席しました】〔5/23（火）岡山県倉敷市〕

全国の水道企業団等から会員約 150 名が出席し、全国水道企業団協議会の総会（担当：中国・四国地区協議会）が開催されました。

令和6年度が九州地区の担当となることから、当企業団からは、中村企業長と職員3名が出席しました。

総会では、広域水道の普及発展等への功績をたたえ、^{うのき きかし} 鷗木 賢 福岡県南広域水道企業団 前企業長のほか10名の方が会長表彰を受けられ、出席された5名に ^{よしだ のぶお} 吉田 延雄 会長（阪神水道企業団企業長）から表彰状が授与されました。



会議では、会務報告、令和4年度決算、令和5年度予算等の議題のほか、会員提出問題の審議が行われ、以下の12項目が国に要望されることになりました。

（補助関係）

- ・水道事業に対する財政支援の拡充及び要件の緩和等について
- ・水道施設の更新-再構築事業等に対する新たな財政支援制度の確立について
- ・水道事業におけるIoT-新技術活用推進モデル事業の制度拡充等について
- ・省エネルギー-再生エネルギー設備の導入促進に向けた柔軟な制度運用について

（起債・操出関係）

- ・地方公営企業操出制度の義務化及び拡充等について
- ・公的資金補償金免除繰上償還制度及び公営企業借換債制度の復活について

（災害対策関係）

- ・水道施設の災害対策事業に対する財政支援について

（水源関係）

- ・水利権制度の柔軟な運用について
- ・水源地域における関係機関の連携及び行財政支援について
- ・新規の地下水利用専用水道の揚水規制等に係る法整備について

（その他）

- ・電気料金の高騰に対する財政支援の継続-拡充等について
- ・放射性物質濃度が基準値以下となっている浄水発生土の適正な再利用について

その後、竹中 英雄^{たけなか ひでお} 厚生労働省水道課課長補佐から「最近の水道行政の動向」について、橋本 勝二^{はしもと かつじ} 総務省公営企業経営室長から「水道事業経営の現状と課題」について説明がありました。

<総務課 島崎>

●水道週間の取り組みについて〔6/1（木）～6/7（水）〕

水道週間は、厚生労働省、地方公共団体の水道事業者等によって実施される様々な広報活動等の運動を通して、国民に対して、水道の現状や課題について理解を深め、今後の水道事業の取り組みについて協力を得ることを目的として、毎年6月1日から1週間実施されています。

今回はコロナ禍前の取り組みに戻りつつある水道週間となり、構成団体では、当企業団が配付した「アイアンキング」のポスターやポケットティッシュなども活用いただき、さまざまな取り組みが行われました。

以下、構成団体の取り組みを紹介します。

◇福岡市

- ① SNSを活用したキャンペーン動画の公開
水道局公式アンバサダー中島浩二氏が節水を呼びかける15秒動画を「水道局公式 Twitter」や福岡市動画サイト「福岡チャンネル」などに掲載。
- ② ラジオ番組による広報
FM福岡「モーニングジャム」内で、6月1日から1か月の間（毎週木曜日）、節水への呼びかけや、湧水体験談などを紹介。
- ③ 水の大切さを伝えるトークショーを実施
〔6月3日（土）ソラリアプラザ1階ゼファ〕中島浩二氏・湧水を知らない世代・湧水経験者・水道局職員が参加して、「二度の大湧水」を振り返りながら水の大切さについて語り合った。
- ④ そのほか、公益財団法人福岡市水道サービス公社と共同で、パネル展示や水道クイズ、啓発グッズの配布などを実施。



節水を呼びかける中島浩二氏



トークショーの様子



JR 二日市駅でのPRの様子

◇筑紫野市

- ① 啓発ポケットティッシュ配布
- ② 啓発パネルを市役所庁舎内に掲示
- ③ 啓発ポスター（アイアンキング）を上下水道料金総務課窓口に設置
- ④ 啓発ポケットティッシュ及びリーフレットを市内の各コミュニティセンターに設置
- ⑤ 水道週間ポスター及び水道新聞を市役所の庁舎内、市内各小中学校に掲示



◇大野城市

啓発ポスター掲示、啓発ポケットティッシュ配布

◇太宰府市

- ① 市内各保育所、小中学校や公共施設に啓発ポスター掲示
- ② 市役所一階の市民ギャラリーにパネル展示
筑後川水源についての説明、安心・安全な水道水
- ③ 市役所、上下水道事業センターでアイアンキングの啓
発ポケットティッシュ・リーフレット、水道に関する各種
パンフレットを配布



◇古賀市

- ① 古賀市役所上下水道課庁舎内、市民ホール（本庁舎2階）
に啓発ポスターを掲示
- ② 古賀市役所上下水道課庁舎内に啓発パネルを展示
- ③ 上下水道課窓口にて啓発ポケットティッシュを配布



◇宇美町

啓発ポスター掲示、啓発ポケットティッシュ・リーフレットの窓口配布

◇粕屋町

啓発ポスター掲示、啓発ポケットティッシュ配布

◇篠栗町

啓発ポスター・パネルの掲示、チラシと啓発ポケットティッシュの配布

◇新宮町

啓発ポスター・パネルの掲示、啓発ポケットティッシュ・リーフレットの配布

◇宗像地区事務組合

- ① 啓発ポスター掲示（宗像地区事務組合、宗像市役所、福津市役所、宗像地区消防本部）
- ② 啓発ポケットティッシュ配布（上記の場所にて）
- ③ 啓発リーフレット配布（上記の場所にて）

◇糸島市

- ① 啓発ポスター掲示と啓発ポケットティッシュ配布
- ② 庁舎への垂れ幕設置



◇福岡地区水道企業団

- ① 啓発ポケットティッシュ配布、啓発ポスター（アイアンキング等）掲示
- ② 水道週間のぼり設置
- ③ 庁用車へのステッカー貼付



<総務課 川中>

●ラブアース・クリーンアップ 2023【参加しました】〔6/11（日）福岡市南区玉川校区、6/7（水）福岡市東区海の中道〕

「ラブアース・クリーンアップ 2023」が6月11日（日）に福岡市及びその近郊で一斉に行われました。

この活動は、平成4年5月に福岡市で開催された「ローマ・クラブ福岡会議イン九州」を契機に、会議のテーマであった“地球環境と地域行動”の実践活動として、市民・企業・行政が協力し、力を合わせて始めた地域環境美化活動です。

企業団本庁舎がある玉川校区で行われた活動には、当企業団から、企業長以下15名が参加しました。時間のすれ違いなどがありましたが、玉川校区の住民の皆さんとの親睦をはかることができました。



那珂川周辺での活動

6月7日（水）に行われた東区海の中道での活動には、当企業団、及び海水淡水化センターの関係者の皆さん47人が参加し、海の中道の博多湾側にある混合放流施設周辺の海岸清掃を行いました。美しい自然環境を守るための活動の輪を、これからもさらに広げていきましょう。



博多湾側の混合放流施設周辺の海岸清掃活動

<総務課 川中>

●水道週間啓発イベント「水道まつり」【開催しました】〔5/27（土）糸島市 ふれあい〕

今年は、当企業団と糸島市の共催により、水道週間啓発イベントとして5月27日（土）に「ふれあい（糸島市健康福祉センター）」において水道まつりを開催しました。

当企業団と構成団体が共同で行う啓発イベントは、平成30年度から開始しており、水や水道について楽しく学べるさまざまなイベントを実施しています。

小学生とその保護者を中心として約100人の来場者があり、啓発用ポケットティッシュの配布、水道関係啓発パネルを見て回答する水道クイズ、水に関する絵本の展示、水道水とミネラルウォーターの飲み比べ、つまめる水の体験、型抜きなどを行いました。

来場者は、いろいろな体験ができ、記念品や賞品をもらって喜んでおられ、楽しいイベントになったと思います。

<総務課 川中>



会場入口の様子



企業団啓発ビデオ



絵本の展示



型抜きの様子



つまめる水を体験中



水の飲み比べ

■ 企業団設立 50 周年記念事業

● 『考えてみよう！ふくおかの「水」のこと』 ×福岡テンジン大学【連続講座】

設立 50 周年記念事業のひとつとして、福岡地区水道企業団は NPO 法人福岡テンジン大学と連携し 5 月 20 日から福岡都市圏住民を対象に『考えてみよう！ふくおかの「水」のこと』を開始しました。

都市圏住民の皆さんに、暮らしを豊かにする大人の学び（大人の社会学）の一環として、日常生活で身近な「ふくおかの水」をテーマに、自分が暮らす地域のことやその暮らしを支える水源地域、歴史や土木技術について気楽に学び、考える機会とするものです。

《第 1 回 テーマ：なぜ福岡は“水がない”のに九州一の都市となったのか》【開催しました】 【5/20（土）福岡市博物館】

福岡市博物館の有馬館長によるトークセッションでは、福岡の水の歴史を振り返りました。

そのうえで福岡地区水道企業団が設立された経緯や、事業概要を理解していただいた後、参加者同士によるディスカッションを通して、福岡と水についての情報を共有していただきました。

また、会場では「水道水」「海淡水」「ミネラルウォーター」の飲み比べをしていただきくなど好評でした。



会場は福岡市博物館



有馬館長の話を熱心に聴く参加者



利き水コーナー

当日参加された学生おうえん隊のみなさんには、講座終了後に感想をレポートしていただきました。

井上

今回の講座を受講して、水に着目して福岡のまちの歴史について深く学ぶことができました。私が特に印象に残ったことは、有馬学館長の「福岡市は2000年の歴史がある都市」という言葉です。私は普段、福岡のまちを歩いていて、そのような歴史を感じる建物を見たことがなかったのでとても驚きました。2000年の歴史のある福岡市ですが、1960年代までは北九州市のような工業都市を目指しており、それを水不足が原因で達成できず、現在のような情報化や国際化に力を入れた、九州一の都市になったということを知りました。また、福岡市は昭和53年と平成6年の二度の大渇水の経験から、今でも福岡市民の皆さんが節水を心掛けており、日本一の節水都市であるということを知りました。私は大渇水を経験していませんが、今回の講座を受けたことで、今後水をより大切にしようと思いました。

松浦

私は十年以上福岡地区に住んでいますが、近所に浄水場やダムがあることもあり、水が豊かな地域だと感じていました。しかし、蛇口をひねれば安全な水が出てくることは当たり前ではなかったこと、渇水で短く1日6時間しか給水がなかったこと、福岡市が水不足により工業都市になれなかったことなど初めて知ることばかりで、とても有意義な時間になりました。また、アジアのリーダー都市を目指すことや、水の再利用を福岡市が一番初めに始めたこと、水道の漏水率が一位であることを学び、改めて福岡市の良さを実感することができました。そして、今回のお話の中で「福岡市は過去にとらわれず新しいことを始める『上書き都市』であり、一見新しいものばかりで歴史が見えないが、どこかに記録が残っている」というお話がそのような視点で福岡市を見たことがなかったため、とても印象的でした。今回、福岡の水のことについて学びを深めることができましたが、それだけではなく様々な年代の方と、豊富な知識を持った方と意見を交わすことも得るものが多く、とても貴重な経験となりました。

山下

50周年記念事業の水講座では幅広い年代の方と福岡の水事情について議論でき、とても有意義な時間となりました。東京から福岡に移住してきたばかりの方や、昔から福岡に住んでいて渇水の経験のある方などと福岡の水道に関する歴史と一緒に学ぶ中で、福岡は、住民の節水意識が他県と比べて高いことや、水を確保するために様々な取り組みをしていることも分かり、これからも水に関する意識を高く持ち続けていくことが、重要であると感じました。

児濱

今回、福岡の水について知らないことを沢山知れて良い機会になりました。私が特に印象に残っていることは、福岡は水不足の都市であったということです。福岡市は二度の大渇水があったり、歴史上でも水不足が多かったりという事実があります。その原因は福岡市に一級河川がないことが挙げられると思います。そこで筑後川から水を引いたり、海水を淡水化したりという技術を築きました。福岡市内の給水量のうち筑後川からは全体の3分の1を占めています。つまり、今、水があるのはその技術と筑後川のおかげです。しかし、この事実を福岡の住民はあまり知りません。福岡の住民で大渇水について体験していない人も多くいると思います。私もその1人です。現在は当たり前にも思われる水も実際は、当たり前でないことを多くの方が理解する必要があると今回の講演を聞いてより一層感じました。

鎌田

本日の講座では、福岡市の発展と水の関係について学んだ。今まで水道から水が出たことを当たり前のように思い使用してきたが、私たちの生活によって取水源である筑後川に大きな負荷をかけていることがショックだった。渇水を経験していない私たちの世代にとって、「水は限りある資源です。」という言葉は響きにくい。真水をこんなにも豊富に得られる日本の恵まれた環境を理解しつつも、その貴重さを本気で考えたことはなかった。私も筑後川の恩恵を日々受ける者として、これから先も「水」と共に生きていける社会の継続について考えてみたいと思う。

《第2回 テーマ：海水を淡水化する施設の一日職員体験》

まみずピアの大きな構想を考える職員体験ワークショップと施設見学を実施します。

日 時 令和5年6月24日(土) 13:30~16:00

開催場所 海の中道奈多海水淡水化センター(まみずピア)

【福岡市東区大字奈多 1302 番 122】

■水源地域との交流事業

実施レポート

●第49回江川水源祭【開催されました】(6/4(土) 朝倉市江川ダム)

朝倉市の江川ダムにおいて、ダム建設に関わる協力者への感謝の念を再認識するとともに、江川取水の円滑化及び今後の有効な水利用を行うため、また、今年が豊水となることを祈念して、江川水源祭実行委員会(朝倉市、両筑土地改良区、福岡市水道局、独立行政法人水資源機構、当企業団)が主催する「江川水源祭」が開催されました。

ダム堤体で行われた式典には、朝倉市長をはじめ、主催者の代表者など約30名が出席し、清酒注ぎの式が厳粛に執り行われました。当企業団からは、中村企業長のほか8名が参加しました。

当日の江川ダムの貯水率は、96.8%となっており、夏場の水需要の増加を迎えるにあたって豊水を祈念しました。

〈総務課 川中〉



朝倉市長による豊水祈念の言葉



清酒注ぎ式(当企業団企業長)

■水源地域の主なイベント【お出かけください】

●吉井祇園祭(7/21(木)・22(金) うきは市吉井町)

(うきは市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。)

見事な飾り山笠や祇園囃子、夜店等でにぎわう夏の一大風物詩です。

高さ約10mの勇壮華麗な山笠が建ち、人々が祇園囃子の調べに誘われて、夏の夜の涼を楽しめます。

皆さま、お誘い合わせのうえ、是非お越しください。

日 程 令和5年7月21日(金)

～7月22日(土)

おみこしの出発 13:30～

開催場所 素盞鳴神社、高橋神社、白壁交流広場(うきは市吉井町)

問い合わせ先 観光会館 土蔵 TEL 0943-76-3980



●老松様の麦餅つき祭り〔7/15（土）日田市中津江村〕

（日田市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。）

ふんどし姿の氏子たちが檜の木の高い棒を使って勇壮に麦餅を突き上げていく、迫力のあるお祭りです。

【老松様の麦餅つき祭りとは】

始まりは鎌倉時代。三国山のふもとにある^{おにのどう}鬼ノ洞に凶暴な賊が住んだのがこの始まりです。彼らは村々を荒らし、村人が征伐に向かっても討つことができませんでした。村人たちが西国受領の^{おおとも}大友能直にこのことを訴えると、そこで討伐を命じられた^{はせべむねとし}長谷部宗俊が、宮園神社に戦勝祈願をして討伐に向かいます。そして激しい戦いの末に賊の大將を討ち、めでたく凱旋したのです。

この戦勝は宮園神社の御加護によるものであると、社頭でお祭りをし、戦闘の状況を模して餅つきを行ったのが、天福元年（1232年）7月15日のことでした。

それからというもの五穀豊穡、家内安全を祈念したお祭りとして行われ、昭和10年頃からは、新暦の7月15日に行われるようになり、約800年間も続く伝統行事となっています。

日 程 令和5年7月15日（土）

開 催 場 所 宮園津江神社（日田市中津江村）

問い合わせ先 日田市中津江振興局総務振興係 TEL 0973-54-3111



●日田祇園祭〔7/22（土）・23（日）日田市 隈・竹田、豆田地区〕

（日田市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。）

300年以上の歴史を誇る日田の夏の伝統行事。疾病や風水害を払い、安泰を祈念するこの祭りでは、豪華絢爛な山鉾が祇園囃子の音色とともに、隈・竹田地区、豆田地区の町並みを巡行します。

また、夜には提灯を飾り付けた優雅な「晩山」の巡行で、祭りは一気に最高潮に達します。

日 程 令和5年7月22日（土）・23日（日）

開 催 場 所 日田市 豆田地区／隈・竹田地区

問い合わせ先 日田観光課 TEL 0973-22-8210



ユネスコ無形文化遺産

水源情報

企業団ホームページの【水源情報】は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、
【水源情報】が載っています
ので、見てね！！



・企業団ホームページ【水源情報】アドレス

<https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>



編集後記

紫陽花の花色は土の酸度によって変化し、アルカリ性で赤、酸性で青になります。5～7月に開花し6月上旬～7月上旬頃に見頃を迎えるため、ちょうど梅雨の時期に見頃になるので、出かける場所に困ったらぜひ紫陽花を見に出かけてみてはいかがでしょうか。桜に比べて紫陽花は見頃の時期が長いので、ずっと楽しめるのもおすすめのポイントです。私も自宅の近くを散歩するなかで、綺麗な紫陽花に出会ったので、つい何枚か写真に収めました。



また、その近くには百合の花が咲き誇っていました。百合の花ことばは「純粹」「無垢」「威厳」なのに対し、紫陽花の花言葉は「移り気」「浮気」「無常」と真逆なイメージですが、花の美しさはいずれも素晴らしく、見る者の心を和ませてくれる存在であることに変わりはありません。

<川>



★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください
福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS（Twitter、Facebook ページ）を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団 H P

<https://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 Twitter

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 YouTube ページ

YouTube JP

福岡地区水道企業団



福岡地区設立 50 周年記念事業関係 HP,SNS

50 周年記念特設ページ



アイアンキングの部屋



企業団 50 年のあゆみ (Web 版)

